

令和3年12月15日

「深める・広げる—拡張する伝統工芸展」の開催

この度、文化庁では、令和4年1月に「深める・広げる—拡張する伝統工芸展」を新たに開催します。

本展覧会は、伝統工芸の技を基軸に、新しい切り口での展示を試みる展覧会です。

ベテランから若手まで世代を超え、先人たちの技を継承しながら創意あふれる作品を生み、国内外から注目を集める伝統工芸作家を中心に、インスタレーションなど新しい手法も用いて多様な展示を行い、若い世代も対象に伝統工芸の新しい楽しみ方を提案します。

みなさまのご来場を、心よりお待ちしております。

1 会期・会場等

名称 「深める・広げる—拡張する伝統工芸展」

会期 令和4年1月19日（水）～1月31日（月）

午前10時～午後7時（最終日は午後6時まで）

会場 日本橋三越本店 本館7階催物会場

入場料 無料

主催等 主催：文化庁 協力：（公社）日本工芸会（予定） 企画協力：（株）三越伊勢丹

監修 企画監修協力者 外館和子（多摩美術大学教授・工芸評論家）

2 見どころ

- 伝統工芸のうち、若手に勢いがある技術を厳選し、重要無形文化財保持者（※）から若手まで、挑戦的な作品を選抜して展示（約70点） ※いわゆる「人間国宝」
- インスタレーションなどによるドラマチックな空間を演出するとともに、暮らしの中でアートをイメージできる身近さも演出し、分かりやすく親しみやすい解説で若い世代にも展開

3 会期中のイベント

令和4年1月22日（土）に本展覧会の企画監修協力者 外館和子氏と、出品作家 和田的氏（陶芸）、藤塚松星氏（木竹）とのトークイベントを行います。

イベントの詳細は、1月5日（水）以降、三越ホームページをご参照ください。

※ 会期中、取材をご希望される場合は、以下会場担当までご連絡ください。

会場担当 株式会社三越伊勢丹 広報・PR担当 奥津、高松 Tel. 03-3274-8725

<担当> 文化庁文化財第一課

課長 鍋島 豊（内線2884）

課長補佐 山田 隆志（内線2933）

工芸技術部門 生田 ゆき、原 唯（内線2867）

電話：03-6734-2933（直通）

○展覧会の概要

—— 伝統とは、挑戦の積み重ね。

伝統工芸の作家たちは、先人たちの技を継承しながら創意あふれる作品を生み、それらが新たな伝統として引き継がれ、国内外から注目を集める存在となっています。

本展覧会は作家たちの技に焦点を当て、その系譜や表現の多様性を紹介するとともに、インスタレーションなどの手法も用いた多様な展示により、伝統工芸の新しい楽しみ方を提案します。

若い世代の方々にもご覧いただくことで、日本文化のすばらしさの再認識・再発見につながり、伝統工芸の持続的な発展にもつながることを願っています。

文化庁



分野：竹工芸
作者：四代 田辺 竹雲斎
作品名：Connection—無限—

Photo by Tadayuki Minamoto

※写真はイメージです。実際の展示作品とは異なります。



分野：陶芸—練上
作者：尾形 香三夫
作品名：練上鎬陶“天翔る舟”



分野：人形—木芯桐塑
作者：井上 楊彩
作品名：命をつなぐ実デーツ



分野：諸工芸—一切子ガラス
作者：氣賀澤 雅人
作品名：硝子切子鉢「群青」

○企画監修協力者

外館 和子（とだて かずこ）

—— 多摩美術大学教授・工芸評論家



国内外の多くの美術館・大学等で展覧会監修、図録執筆、講演。

また、韓国・世界陶磁ビエンナーレ、金沢世界工芸トリエンナーレ、伊丹国際クラフト展、日展、日本陶芸展など、数々の公募展を審査。

『毎日新聞』「KOGEI！」（奇数月第2日曜朝刊）、『炎芸術』「時代でたどる日本の陶芸」ほか、『陶説』『陶工房』『華道』に連載。

（略歴）

1987年 筑波大学卒業

1988年 茨城県近代美術館学芸員

1999年 茨城県陶芸美術館主任学芸員

2006年 茨城県つくば美術館主任学芸員

2018年 多摩美術大学教授

（受賞歴）

2005年 菊池美術財団論文賞（最高賞）

2014年 台湾・国際キュレーションビエンナーレでベスト8

（主著）

『日本近現代陶芸史』阿部出版、2016

『Fired Earth, Woven Bamboo: Contemporary Japanese Ceramics and Bamboo Art』MFA, Boston, 2013

『中村勝馬と東京友禅の系譜』染織と生活社、2007

『バーナード・リーチ再考』（共訳書）思文閣、2007

（主な海外展監修・図録執筆等）

独フランクフルト工芸美術館「Creative Tradition」（2011）

米ボストン美術館『Fired Earth, Woven Bamboo: Contemporary Japanese Ceramics and Bamboo Art』（2013）

台湾・新北市立鶯歌陶瓷博物館『青花瓷—新世紀的震撼』（2015）

中国・拓福美術館『第1回アジア漆芸展』（2015）

伊クロchetteイ美術館『日伊ブロンズ彫刻家交流展』（2018）

韓国清州工芸ビエンナーレ 審査員（2021） など

○出品作家リスト

※変更になる場合があります。

	分野	技法	出品作家
1	陶芸	備前	伊勢崎 淳
2			隠崎 隆一
3			伊勢崎 創
4		白磁	前田 昭博
5			塚本 満
6			高橋 奈己
7			佐藤 典克
8			和田 的
9			色絵磁器
10		前田 正博	
11		武腰 潤	
12		吉田 幸央	
13		井戸川 豊	
14		南 絢子	
15		練上	松井 康陽
16			尾形 香三夫
17			星野 友幸
18	染織	友禅	森口 邦彦
19			高橋 寛
20			中川 正洋
21			生駒 暉夫
22		振り織	土屋 順紀
23			海老ヶ瀬 順子
24			磯 緋佐子
25		紬織	村上 良子
26			大高 美由紀
27		漆芸	乾漆
28	野口 洋子		
29	築地 久弥		
30	蒔醬		山下 義人
31			佐々木 正博
32			藤田 正堂
33			松本 法子
34			中田 真裕

	分野	技法	出品作家		
35	金工	象嵌	中川 衛		
36			奥村 公規		
37			鹿島 和生		
38			前田 宏智		
39			大槻 昌子		
40			原 智		
41			村上 浩堂		
42			木竹	指物	須田 賢司
43					渡辺 晃男
44					古谷 禎朗
45					五十嵐 誠
46	編組	勝城 蒼鳳			
47		藤沼 昇			
48		田中 旭祥			
49		藤塚 松星			
50		武関 翠篁			
51		四代 田辺 竹雲齋			
52	人形	陶胎彩色	中村 信喬		
53			島田 耕園		
54			中村 弘峰		
55		木芯桐塑	原山 桂子		
56			杉浦 美智子		
57			井上 楊彩		
58			小島 尚子		
59			諸工芸	七宝	勝 文彦
60	松本 三千子				
61	截金	中村 佳睦			
62		江里 朋子			
63	切子ガラス	白幡 明			
64		渡邊 明			
65		氣賀澤 雅人			
66		小川 郁子			